

『**管理職のビジョンと戦略を支援する学校訪問 第2回訪問**』が終わりました。

学校（経営）力の向上を実感することができました!

9月13日（月）から始まった津山教育事務所管内の第2回学校訪問ですが、市町村教育委員会や各小中学校のご理解とご協力をいただき、ほぼ計画通り訪問させていただくことができました。ありがとうございました。

第1回のオンライン面談で確認させていただいたことや中間期の進捗状況、そして、中間期以降で訪問日までの取組状況をうかがい、**年度末に向けてさらに実効性を高めていただくための協議**ができたのではないかと考えています。

また、実際に授業を参観させていただくことにより、**学校全体や個人としての授業改善の方向性**について、指導主事と共にお話をさせていただくことができました。

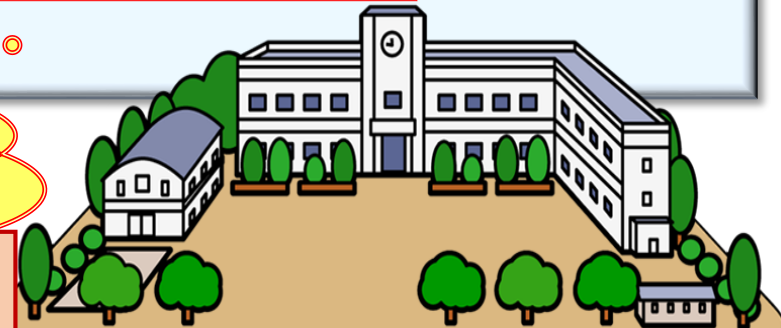
すでに、「訪問の記録」を提出していただいておりますが、学校訪問で協議された内容については**学校内で共有**され、さらに**組織体制を強化し、学校全体で焦点化された取組**を進めていただいているところではないかと思えます。

そして、**来年度の学校経営計画やAPの検討・作成**にも入られている頃でもあると考えています。今年度は第3回の学校訪問は予定しておりませんが、**来年度に向けてご支援**をさせていただきたいとも考えています。

来年度のAP作成に当たって、ご支援をさせていただくことがありましたら、遠慮なくご連絡ください。学校経営アドバイザーがご相談に応じさせていただきます。

TEL:(0868)24-8705

津山教育事務所 義務教育支援課



第2回学校訪問を終えて（総括）

学力向上担当者等の同席により、中心になる先生方と協議内容を共有できたことは有意義であったように思います。

【APの推進について】

- 検証改善のサイクルを回すために、年間2回を見直し、学期ごとにアンケート等で検証し、その結果をもとに改善策を検討して取組に結び付けている学校が多くなりました。最上位の「当てはまる」の割合で検証していこうとする学校も増えてきています。
- 学校全体で組織的に取り組んでいくために、取組ごとにその責任者やチームを明確に位置づけ、取組の内容やスケジュールを明記した「計画表」を作成している学校が多くなりました。
- 進捗状況を確認しながら進めていくために、推進委員会を組織したり、チェック表により個々の取組状況を確認したりする工夫が多くみられました。
- 第1回面談の助言を受けて、AP自体を大きく見直し、取組のウエイトを置き換えたり、取組自体を焦点化したり、達成目標を具体化し検証しやすい目標にしたりした学校がありました。これらの学校は、一体感のある取組が進められ学校力の向上につながっています。
- 「知」に関する項目に関しては、「授業づくり」の取組を中心に据えていこうとしている学校がかなり多くなりました。また、自己肯定感の育成など「徳」に関する取組を総合的な学習の時間や特別活動等だけでなく、授業の中で推進していこうとしている学校も増えてきています。
- 管内には「非認知能力の育成」に先進的に取り組んでいる学校がありますが、その取組に関心を持ち、来年度に向けて検討されている学校が増えてきつつあります。

取組の参考にしていただければ幸いです。例は、今後紹介させていただきます。

【授業づくりについて】

- 振り返りの視点を工夫したり、各時間の振り返りだけでなく単元全体の振り返りを計画的に行ったり、家庭学習や次時につながる振り返りを工夫したりと、学習内容を確実に定着させたり学習意欲を向上させたりするための取組が進んでいます。
- APの取組や校内研究に関わる授業を積極的に公開してくださる学校が多くなりました。具体的な実践をもとに協議することができ、今後に向けての話が深まったように思います。
- タブレット等ICTの活用についても、積極的な活用の様子を見せていただくことができました。しかし、徐々に学校間格差や校内での教員間格差が生じてきているのではないかと危惧しています。管理職の意識で取組がずいぶん変わってきているようです。

